



平成 23 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社C&Gシステムズ
代表者名 代表取締役社長 山口 修司
(J A S D A Q コード 6 6 3 3)
問合せ先 執行役員 管理統括部 部長
大野 聡太郎
(T E L . 0 3 - 5 7 9 3 - 8 8 0 0)

特別損失の発生および

平成 22 年 12 月期通期（連結・個別）業績予想との差異に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 12 月期（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日）において特別損失が発生する見通しとなりましたので、その概要をお知らせいたします。また併せて、最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 12 月期の通期業績予想（連結・個別）について、平成 22 年 2 月 19 日付当社「平成 21 年 12 月期 決算短信」にて発表いたしました業績予想との差異に関して、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生について

当社は、賃借料の削減及び業務の効率化を図ることを目的に、本日発表の「本店移転および定款の一部変更に関するお知らせ」のとおり、本店の移転を含む「定款一部変更の件」を平成 23 年 3 月 29 日開催予定の株主総会に付議することについて決議いたしました。これに伴い、平成 22 年 12 月期において固定資産臨時償却費として連結・個別でそれぞれ 25 百万円を計上する見込みです。

2. 平成 22 年 12 月期通期（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日）業績予想数値との差異

(1) 連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	3,171	24	38	26	2円32銭
今回発表予想(B)	2,792	△74	△64	△92	△8円30銭
増減額(B-A)	△378	△98	△103	△119	—
増減率(%)	△11.9	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 12 月期)	2,488	△639	△601	△1,248	△108円09銭

(2) 個別業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	2,758	15	29	20	1円81銭
今回発表予想(B)	2,434	△98	△84	△108	△9円75銭
増減額(B-A)	△323	△114	△113	△129	—
増減率(%)	△11.7	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成21年12月期)	116	9	7	△1,600	△138円53銭

(3) 差異理由

①連結業績

当社グループを取り巻く環境は、金型産業における新興国の台頭に加え、円高の進行、製品メーカーからのコスト低減要求等により、更新需要のある工作機械等については一部設備投資が進んだものの、当社が主として販売している CAD/CAM 製品関連の増設需要は低調に推移いたしました。これらの結果、売上高は前回予想を3億78百万円下回る見込みです。また売上減少に伴うハードウェアの仕入原価の減少、経費削減努力による販管費の減少もありましたが、売上の伸び悩みをカバーするに至らず、営業利益は前回予想を98百万円、経常利益は前回予想を1億3百万円、それぞれ下回る見込みです。当期純利益については、売上高の減少に加え前述の固定資産臨時償却費25百万円の影響により、前回予想を1億19百万円下回る見込みです。

②個別業績

(3) 差異理由 ①連結業績と同様の理由であります。

以 上